



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成24年7月31日

上場会社名 オークマ株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 6103 URL <http://www.okuma.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 花木 義麿

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理・企画部長

(氏名) 堀江 親

TEL 0587-95-7822

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	31,959	8.4	2,708	87.4	2,578	90.4	1,884	116.4
24年3月期第1四半期	29,481	78.2	1,445	—	1,354	—	871	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 424百万円 (△28.5%) 24年3月期第1四半期 592百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	11.48	—
24年3月期第1四半期	5.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	164,261	94,919	56.0
24年3月期	166,949	95,318	55.5

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 91,999百万円 24年3月期 92,604百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	5.00	8.00
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	70,000	8.7	4,800	29.7	4,300	37.9	3,400	56.8	20.71
通期	145,000	3.2	12,000	6.0	11,000	7.9	8,800	5.5	53.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

（注）第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期1Q	168,775,770 株	24年3月期	168,775,770 株
25年3月期1Q	4,571,019 株	24年3月期	4,570,608 株
25年3月期1Q	164,204,774 株	24年3月期1Q	164,216,067 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
(1) 受注及び販売の状況	9
(2) 海外売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧州では債務問題の影響により景気の後退がみられ、中国などアジアの新興国においては経済成長の鈍化が見られるなど、世界経済の先行きは不透明感を強めております。日本経済においては、東日本大震災からの復興需要に支えられ、緩やかに回復しております。

工作機械業界につきましては、欧州市場で需要が鈍化しましたが、日本・北米は堅調に推移し、アジアは電気・精密分野を中心に底堅い動きが持続しております。

このような状況の下、当企業グループは経営指針「グローバル70」を掲げ、グローバル販売戦略、プレミアム・プロダクト戦略、グローバル・コスト戦略を進め業績向上に努めてまいりました。

グローバル販売戦略におきましては、オークマブランドの市場への浸透、販売・サービスネットワークの更なる強化・充実を進めてまいりました。

平成24年6月に開催された「第11回北京国際工作機械・工具展（CIMES2012）」など中国市場の展示会において、強みとする高付加価値マシン、独自の知能化技術を出展、アピールするなどオークマブランドの市場への浸透を図ってまいりました。

また販売・サービスネットワークの更なる強化・充実においては、新興国を中心として販売・サービス拠点の機能強化を引き続き進めてまいりました。

プレミアム・プロダクト戦略におきましては、高機能・高品質・高付加価値を基軸とした商品戦略の下、新商品の開発、新技術の開発を進めてまいりました。

商品戦略の一環として、人と機械の調和をコンセプトとした新たな機械デザイン「プレミアムデザイン」を昨年度にリリースし、市場へアピールしてまいりました。

この度プレミアムデザインを採用したMULTUS B300Ⅱが、人間工学を取り入れた操作性とデザイン性を評価され「第42回機械工業デザイン賞 最優秀賞（経済産業大臣賞）」（日刊工業新聞社主催）を受賞しました。

グローバル・コスト戦略におきましては、国内2工場（本社工場、可児工場）での集中生産体制の下、製造効率の向上、製造変動費の引き下げを継続して進め、収益力の強化を図ってまいりました。また海外2工場（台湾、北京）においては、生産能力拡大、製造効率向上に努めてまいりました。

このように、「グローバル70」の戦略を確実に実行してまいりました結果、当第1四半期連結累計期間における連結受注高は303億61百万円（前年同四半期比8.6%減）、連結売上高は319億59百万円（前年同四半期比8.4%増）、営業利益は27億8百万円（前年同四半期比87.4%増）、経常利益は25億78百万円（前年同四半期比90.4%増）、四半期純利益は18億84百万円（前年同四半期比116.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における総資産は、前連結会計年度末と比較して26億88百万円減少し、1,642億61百万円となりました。主な要因は、「受取手形及び売掛金」の減少56億33百万円、及び「現金及び預金」の増加28億29百万円などによるものであります。また、負債は前連結会計年度末と比較して、22億89百万円減少いたしました。主な要因は、「支払手形及び買掛金」の減少10億10百万円、及び「賞与引当金」の減少10億13百万円などによるものであります。純資産は、「利益剰余金」の増加10億63百万円、「その他有価証券評価差額金」の減少7億91百万円、及び「為替換算調整勘定」の減少8億75百万円などにより、3億98百万円の減少となりました。この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は56.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の世界経済の見通しにつきましては、欧州債務問題は影響が長期化することが懸念されますが、米国経済は堅調さを維持しており、またアジア諸国では景気対策が期待されることから、世界経済は次第に持ち直すものと見込まれます。

わが国経済の見通しにつきましては、復興需要を背景として緩やかな景気回復が持続すると思われる。

工作機械需要は、欧州債務問題などにより先行き不透明感を増していますが、世界経済の持ち直しに伴い需要は緩やかに拡大していくと見込まれます。

このような状況の下、当企業グループは引き続き「グローバル70」の戦略を着実に実行し、成長に繋げてまいります。

以上を踏まえ、平成24年4月27日公表の平成25年3月期の連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,465	41,295
受取手形及び売掛金	33,044	27,411
たな卸資産	41,445	43,362
その他	7,067	6,434
貸倒引当金	△298	△288
流動資産合計	119,724	118,215
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,347	14,426
その他（純額）	11,632	11,532
有形固定資産合計	25,979	25,959
無形固定資産	2,500	2,527
投資その他の資産		
投資有価証券	15,399	14,474
その他	3,355	3,094
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	18,745	17,559
固定資産合計	47,225	46,046
資産合計	166,949	164,261

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,690	27,680
短期借入金	123	130
1年内返済予定の長期借入金	7,314	7,314
未払法人税等	595	599
賞与引当金	2,082	1,068
役員賞与引当金	113	21
製品保証引当金	307	285
その他	7,679	8,238
流動負債合計	46,907	45,338
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	10,926	10,898
退職給付引当金	947	915
役員退職慰労引当金	103	92
負ののれん	3	2
その他	2,743	2,093
固定負債合計	24,724	24,004
負債合計	71,631	69,342
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,000	18,000
資本剰余金	41,672	41,672
利益剰余金	42,337	43,400
自己株式	△3,250	△3,250
株主資本合計	98,759	99,822
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,133	341
為替換算調整勘定	△7,288	△8,164
その他の包括利益累計額合計	△6,155	△7,823
少数株主持分	2,713	2,919
純資産合計	95,318	94,919
負債純資産合計	166,949	164,261

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	29,481	31,959
売上原価	21,730	22,819
売上総利益	7,751	9,139
販売費及び一般管理費	6,305	6,430
営業利益	1,445	2,708
営業外収益		
受取利息	40	40
受取配当金	119	136
負ののれん償却額	75	0
その他	121	118
営業外収益合計	356	295
営業外費用		
支払利息	165	120
為替差損	140	97
その他	141	207
営業外費用合計	447	425
経常利益	1,354	2,578
特別損失		
投資有価証券評価損	—	119
災害による損失	95	—
特別損失合計	95	119
税金等調整前四半期純利益	1,258	2,459
法人税等	319	518
少数株主損益調整前四半期純利益	939	1,940
少数株主利益	68	55
四半期純利益	871	1,884

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	939	1,940
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21	△782
為替換算調整勘定	△325	△724
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△8
その他の包括利益合計	△346	△1,516
四半期包括利益	592	424
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	470	217
少数株主に係る四半期包括利益	122	206

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州	アジア・パ シフィック	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	15,949	6,977	4,342	2,212	29,481	—	29,481
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,254	25	24	1,083	11,387	△11,387	—
計	26,203	7,002	4,367	3,295	40,869	△11,387	29,481
セグメント利益	1,070	545	20	165	1,802	△357	1,445

(注) 1. セグメント利益の調整額△357百万円は、未実現利益の消去他であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州	アジア・パ シフィック	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	17,375	8,285	4,350	1,947	31,959	—	31,959
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,151	22	18	1,662	13,854	△13,854	—
計	29,526	8,308	4,368	3,610	45,814	△13,854	31,959
セグメント利益	2,250	602	73	174	3,101	△392	2,708

(注) 1. セグメント利益の調整額△392百万円は、未実現利益の消去他であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

① 受注状況

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
NC旋盤	11,422	13,596	8,542	12,640
マシニングセンタ	14,113	24,024	14,322	18,854
複合加工機	6,062	7,044	6,194	5,667
NC研削盤	498	1,637	349	677
その他	1,127	1,476	953	1,093
合計	33,224	47,779	30,361	38,933

(注) 受注高、受注残高には消費税等は含まれておりません。

② 販売実績

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	
	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)
NC旋盤	8,518	28.9	9,778	30.6
マシニングセンタ	13,479	45.7	14,587	45.7
複合加工機	6,044	20.5	5,824	18.2
NC研削盤	442	1.5	906	2.8
その他	997	3.4	861	2.7
合計	29,481	100.0	31,959	100.0

(注) 売上高には消費税等は含まれておりません。

(2) 海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

	米州	欧州	アジア・ パシフィック	計
I 海外売上高(百万円)	7,490	4,342	7,857	19,691
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	29,481
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	25.4	14.7	26.7	66.8

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

	米州	欧州	アジア・ パシフィック	計
I 海外売上高(百万円)	8,441	4,712	8,156	21,310
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	31,959
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	26.4	14.8	25.5	66.7